（資料2 ITNのスタンダードの説明表）

www.internationaltennisnumber.com

ITN	ITN比較	各国レイティング	全般的な競技レベル	サーブ	リターン	ベースラインゲーム	アプローチ/ネットプレイ	ネットプレーヤーをパスする
1	エリート		・ATP/WTAランキングの保持者、または可能性のある者 ・国際水準のトーナメントに参加し、主たる収入がトーナメントの賞金であるワールドクラスのプレーヤー ・大規模なプロトーナメントの経験がある					
2	上級者		・相手の弱点を分析し、見抜くことができる ・戦略とプレースタイルを変化させ、プレッシャーの在る状況で自信を持ったショットが打てる。 ・通常、その国の上位ランキング者	・1stと2ndサーブがプレッシャーのある状況で打て、いつでも攻撃的に打てる。	・フォア、バック両サイドの予測力がついている。 ・相手の準備動作、トス、バック・スイング、身体の位置から手がかりをつかめる。	・プレッシャーのある状況で自身のあるショットが打てる。 ・フォアハンド、バックハンドで攻撃、逆襲、防御を効果的にできる。 ・あらゆる種類のショットをプレーできる。	・スライス、またはドライブのアプローチができる。 ・ネットでの予測がよく、コートセンスがよい。 ・効果的にアングルを使い、、あるいは深くプレーできる。 ・攻撃的なボレーができる。 ・スマッシュは、必ずウイナーである。 ・バックハンドオーバーヘッドスマッシュが強力。	・両サイド、そしてサーブのリターンでその場に応じて、上手くパスする。 ・2ショット・パッシング・コンビネーションを効果的に使える。
3			・優れたショットの予測と優れたショットを有し、安定性、あるいはゲームの基本となる特質を持っている。 ・プレーヤーは、'試合巧者'、つまり、パーセンテージテニスをし、サービス・リターンエースを必要なときに打て、あるいは、ショートボールでサービス・リターンのエラーを引き出せる。	・サーブは、相手の弱点に打たれ、あるいは、攻撃的な状況に展開するために、効果的に打たれる。 ・信頼できるサーブの種類を持つ。。 ・十分な深さ、スピン、そしてプレースメントで弱いリターンを攻め、あるいは、次のショットを組み立てるための2ndサービスを持つ。	・攻撃的そして、オフ・ペースなサービスリターンを、コントロールでき、深く、スピンを混ぜて打てる。	・フォアハンド・ストロークは、コントロール、深さ、スピンを伴い、強力。 ・攻撃的な状況を作り出すためにフォアハンド・ストロークを使う。 ・安定した攻撃ショットとしてバックハンド・ストロークを使う。 ・ほとんどのショットが十分な深さと、方向性を持つ。 ・タッチショットを習得している。 ・スピンの種類がある。	・アプローチショットは、ペースと高い有効性をもって放たれる。 ・ほとんどのボレーは、深さとペースと方向性を持って打球される。 ・深い、難しいボレーをプレーできる。 ・チャンスがあれば、ボレーは、ウイナーとして打球される。 ・スマッシュは、どこからでも打てる。 ・安定性のあるミッドコートボレーを打球できる。	・パッシング・ショットが安定し、ペースと高い有効性を持って、パッシング・ショットを打てる。 ・攻撃的なロブが打てる。
4			・安定したプレーで、効果的に加速、スピンをかけ、ペース配分ができる。 ・優れた予測、正しいフットワークができ、弱点をよく、カバーできる。 ・ショットの深さをコントロールでき、相手に応じてゲーム・プランを変化させれる。 ・難しいショットに対して、不確かであるが、1stサービスのパワーと正確性と2ndサービスのコースを打ち分けれる。 ・ダブルスにおいて、攻撃的なプレーができる。	・攻撃的なサーブを持ち、ダブル・フォールが少ない。 ・特に1stサーブのとき、攻撃的な組み立てをするために、パワーとスピン・サービスを効果的に使える。 ・2ndサーブがよい位置に深く打つことができる。	・頻繁に攻撃的なリターンができる。 ・ダブルスにおいて、普通にペースを変えることができる。 ・チップとドライブができ、チップとチャージができる。	・非常に安定した（自信ある）フォアハンドストロークを持つ。 ・スピードとスピンを効果的に使う。 ・深さのコントロールはあるが、あわてたり、プレッシャーがかかると、オーバーヒットする。 ・中程度のショットでは攻撃的。 ・バックハンドは、方向と深さをコントロールできるが、プレッシャーを受けると崩れる。 ・かなりスライスができる。	・アプローチショットは、深く、コントロールされ、打球される。 ・一連の混じったボレーを扱える。 ・バックハンドボレーで、深さがあり、方向のコントロールが良い。 ・ポイントを決めるためにボレーとスマッシュを安定して打球できる。 ・タッチショットを習得し、フットワークに優れる。だが、最も一般的なエラーは、オーバー・ヒッティング。	・防御的、そして攻撃的なロブを打てる。 ・かなり高い確率でネットプレーヤーをパスできる。
5	中級者		・優れた安定性（確かなグラウンド・ストローク）、普通のショットでフォアハンド、バンクハンド両サイドの方向と距離のコントロールができるが、ラリーは、我慢できなくてミスする。 ・ロブ、スマッシュ、アプローチショット、ボレーが使え、時々、成功する。 ・コートカバリングを習得中で経験をつみ、戦術に注意を払うが、まだ優れたパーセンテージテニスをプレーできない。 ・時々、サーブのとき、サービスリターンのエラー引き出せる。 ・ダブルスのチームワークが理解できる。	・1stと2ndサーブのプレースメントがよい。 ・1stサーブが、しばしばパワフルである。 ・スピンを時折、使うことができる。	・信頼できるサービス・リターンができる。 ・シングルスで、深いリターン、ダブルスでいろいろないターンができる。	・フォアハンド・ストロークは、安定し、中程度のショットは深さとコントロールできるが、プレッシャーのあるとき、コースの配分ができない。 ・バックハンド・ストロークは、中程度のスピードで安定して、ボールの方向性がいい。 ・スピンを習得し、トップスピンとスライス両方を打てる。	・ネットへ攻撃的なショットで前進する。 ・フォアハンド・ボレーの深さとコントロールがある。 ・バックハンド・ボレーの方向はいいが、一般的に深さを欠く。 ・両サイドのワイドのボレーと低いボレーを打球できるように習得中。 ・簡単なスマッシュを処理できる。 ・ダブルスのポーチができる。 ・ポイントを決め始める。。 ・相手の弱点に打球する。	・難しいショットに対、し防御的なロブを打ち、攻撃的なポイントの組み立てを行う。
6			・普通のショットの方向コントロールの安定性を持った、改良されたストロークを習得中だが、深さと、変化がまだコントロールできない。 ・コートカバーが上達しているが、前に出る時、まだためらいがある。 ・ダブルスのチームワークを習得中。	・コントロール・サーブと、しばしばパワーサーブを開始。 ・スピンを習得中。	・中程度のペースで方向性のコントロールのある安定したサービスリターンができる。	・フォアハンド・ストロークは、極めて安定し、中程度のショットで変化をつけ、方向性が良く、スピンもプレーできる。 ・バックハンドは、中程度のショットで方向のコントロールをもって打球されるが、高く、そしてハードショットに対して、難があり、、防御的な返球となる。 ・バンクハンド・ドライブかスライスの一方を極端に使う。	・アプローチショットを習得し、ネットに出るチャンスを探し始める。 ・より攻撃的なネットプレー。 ・フォアハンド・ボレーの方向性を持ち、バックハンドボレーのコントロールはできるが、攻撃的でない。 ・ボレーでポイントを決め、ハーフボレーをプレーすることは難しい。 ・パッシングショットは少しカバーでき、かなりのフットワークができる。 ・届く範囲の安定したスマッシュ。	・遠いペースのショットで、かなり安定したロブを打てる。 ・基本的なパッシングショット能力を習得するが、バックハンドのパスが難しい。

ITN	ITN比較	各国レイティング	全般的な競技レベル	サーブ	リターン	ベースラインゲーム	アプローチ/ネットプレイ	ネットプレーヤーをパスする
7	中級者		・普通のペースのショットにかなりの安定性をもつが、全てのショットをうまくプレーできず、方向性、深さ、パワーのコントロールを欠く。 ・シングルスの試合は、ベースライン主体に行い、最も一般的なダブルスのフォーメーションは、一人が後衛、他の一人が前衛。	・リズムを習得中だが、パワー・サーブのとき、不安定。 ・2ndサーブは、1stサーブよりもかなり遅い。	・かなりの安定性を持って大部分がコートの中央にリターンできる。	・フォアハンドは、方向性に集中し、かなりの安定性を持つが、深さのコントロールに乏しい。 ・バックハンドは、中程度のショットでかなり安定性し始め、多くのボールがコートの中央に方向つけられる。	・プレーが要求するとき、ネットにアプローチするがそれを実行するために習得が必要。 ・安定したフォアハンドボレーを持つが、バックハンドボレーの安定性を欠く。 ・ローボレー、ワイドボレーが難しい。 ・時々、ポジションから外れ、大きすぎるスイングをしてしまう。	・中程度のショットでかなり安定したロブを打ち、ドライブの変わりにサービス・リターンにロブを使う。
8	レクリエーショナルプレーヤー		・ボールがどこに飛ぶか判断することを学ぶが、コートカバリングは、まだかなり習熟する必要。 ・同じレベルのプレーヤーとプレーするとき、このプレーヤーは、かなりの安定性を持って、スローペースのショートラリーができる。 ・ダブルスのとき、初歩的なダブルスのポジションを維持できる。	・フルスイングを試みる。 ・1st、2ndサーブのペースの違いがほとんどない。 ・スローペースでボールをインプレーできる。 ・安定したトスが必要。	・スローペースのサーブに対しリターンができる ・短いフォロースルーが多い。	・フォアハンドのフォームが上達する。 ・プレーヤーは、中程度のペースのショットに対し、構えられ、準備される。 ・バックハンドグリップと準備の問題が、明らかで、プレーヤーは、バックハンド・ストロークよりもフォアハンド・ストロークを好んで選択する。	・必要に迫られたときだけ、ネットにアプローチする。 ・ある程度の自信を得るためにネット練習の時間が必要。 ・特にバックハンドサイドのネットでの自信がなく、バックハンドボレーをプレーするとき、ラケット面のフォアハンドサイドを使ってしまう。 ・スマッシュのコンタクトができる。	・ロブを習得始めるが、コントロールに乏しい。 ・相手のバックサイドにだけロブを打つ傾向がある。
9			・コート上での経験が必要。 ・ストロークは、時々、成功するが、ストロークの力の弱さは、明らか。 ・シングルス、ダブルスのプレーで、基本的ポジションは取れるが、さらによいポジションをとる必要があり、まだ、ベースラインでのプレーを好む。 ・このプレーヤーは、試合のプレーに没頭する。 ・基本的なルールとスコアのつけ方を学ぶ。	・サービスの動作が滑らかでなく、さらにコーディネーションが必要。 ・頻繁にダブルフォールトをする。	・無駄なエラーを減らすために安定したサービスが必要。 ・フォアハンド・ストロークでリターンの大部分を行おうとする。	・フォアハンドは、より完璧なスイングとより方向性への集中を必要とする。 ・バックハンドでプレーすることを避け、バックハンドサイドの技術的な問題（例：、グリップ、スイング、コンタクト）を経験する。	・アプローチショットとネットプレーに慣れていない。 ・もっぱらフォアハンドボレーに専念し、スマッシュのコンタクトに問題がある。	・初めてロブを打つのが難しい。 ・パスに慣れていなく、相手の正面に向かってボールを打ってしまう。
10			・このプレーヤーは、正式な大きさのコートで、ITF公認のボールを使用して、競技としてのプレー（サーブとリターン、ラリー）ができるようになる。					
10.1	初心者		プレーヤーは、動き、コントロールしてラリーができる。	ITN10．1からITN10．3までのカテゴリーは、通常緩和された環境、つまり、小さいコートでやわらかいボールを使用する、あるいは適切な、プレーヤーに合ったラケットを使用する環境でプレーすることを含む。				
10.2			・プレーヤーは、来たボールに対して、きちっと打球しながら、簡単なテニスのスキルを行えるが、動きと、コントロールをしてラリーはまだできない。					
10.3			・プレーヤーは、テニススキルの育成の初期段階で、単純なテニスのコーディネーション/エキササイズを初めて学ぶ。					

※　旧レイティングの4．0は、ITNスタンダードでは6．0に相当する

※　指導員養成講習会受講者の実技レベル目安は、ITNスタンダードで6．0程度あることが望ましい。

※　上級指導員養成講習会受講者の実技レベル目安は、ITNスタンダードで5．0程度あることが望ましい。